

浸水対策の効果事例 ②

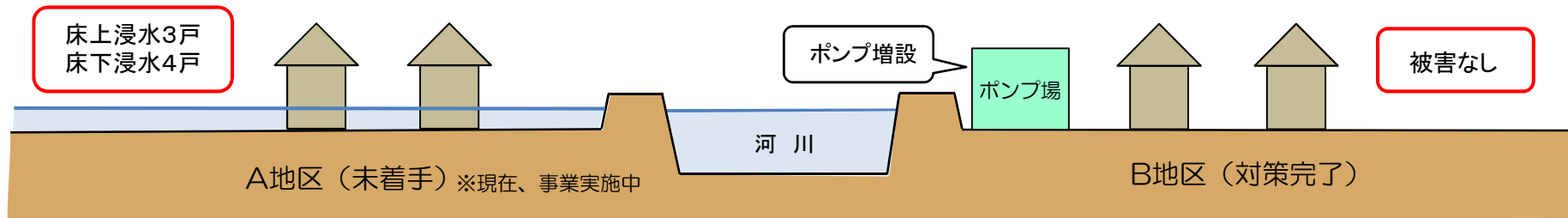
浸水対策完了地区では、浸水被害が発生せず、台風通過後には都市機能が早期に回復！

平成26年10月 台風18号では、対策事業が未着手のA地区において床上・床下浸水が発生し、台風通過後も浸水が残っていたが、河川対岸に位置する対策事業が完了したB地区では道路冠水は発生したものの、浸水被害に至らなかった。台風通過後には、早期に道路冠水も解消され、被害に至らなかった。

静岡市上下水道局 水のキャラクター しずみい



平成26年10月 台風18号 … 時間最大雨量 90mm/h、総雨量 471mm ※ 静岡県で観測している平山観測所のデータ



台風18号
通過中
(午前8時頃)



住宅街は完全に浸水しており、放流先河川は溢れる寸前

2時間後

ポンプが稼働しているため水路は溢れておらず、場所により道路が冠水する程度



台風18号
通過後
(午前10時頃)



対策がなされていないため、放流先河川の水位の影響により排水できない

ポンプの整備効果により、道路冠水は早期に解消し、水路の水位も低くなった